

三
虫
三
ト

五
至公昭付之下

七
收
五

九
廻
収
々
々
々

十一 抄紙目錄卷之八

十二 美日形

金瓶梅

本字一

年四月壬子人法賦

儲金後收

ゆづりや

四
卷之二

六
封
上
五
三
二
一

八如紙上

千
はともの

十二 金瓶梅 卷之四

十二 美日形

破紙白形

九

卷之五

知

嘉慶

五ノ下

卷之七

七

寺

九

77

十

平 7

七

...

五

ウ

あゝと云ふ後

あゝと云ふ

あゝと云ふ

あゝと云ふ

十四 書 後 後 後

あゝと云ふ

あゝと云ふ

あゝと云ふ

あゝと云ふ

あゝと云ふ

あゝと云ふ

あゝと云ふ

あゝと云ふ

あゝと云ふ

あゝと云ふ

あゝと云ふ

あゝと云ふ

あゝと云ふ

あゝと云ふ

あゝと云ふ

あゝと云ふ

あゝと云ふ

あゝと云ふ

あゝと云ふ

あゝと云ふ

あゝと云ふ

あゝと云ふ

あゝと云ふ

あゝと云ふ

あゝと云ふ

あゝと云ふ

あゝと云ふ

あゝと云ふ

あゝと云ふ

あゝと云ふ

あゝと云ふ

あゝと云ふ

あゝと云ふ

あゝと云ふ

あゝと云ふ

あゝと云ふ

あゝと云ふ

あゝと云ふ

あゝと云ふ

あゝと云ふ

あゝと云ふ

あゝと云ふ

あゝと云ふ

あゝと云ふ

あゝと云ふ

あゝと云ふ

あゝと云ふ

三

母とて
 子とて

象足

永世長存

家書

卷之七

天

姑蘇

五
月
の
ま
る
け
三十五

正月

二月

之月

四月

子月

卷之四

七月

八月

九月廿七

十四

十一月

十一月

十六
同
一字
異名

十七
ふきくはういふ

人の子としを
人の子としを
人の子としを
人の子としを
人の子としを
人の子としを
人の子としを

五十六

大

目^めの^めい^いさ^さう

元

衣^い服^{ふく}羽^はづ^づる

魚

鰯^{いわし}と^とう^うづ^づる

靴

の^の沓^{くさ}づ^づる

殿

と^とう^うづ^づる

作

と^とう^うづ^づる

心

と^とう^うづ^づる

哇

古^こ目^めの^めい^いさ^さう

哇

羽^はと^とう^うづ^づる

哇

多^たく^くと^とう^うづ^づる

哇

持^もと^とう^うづ^づる

哇

御^ごと^とう^うづ^づる

哇

申^まと^とう^うづ^づる

哇

哇

哇

哇

哇

哇

一
高^{たか}れ^れ端^はと^とう^うづ^づる

一 高れ端々之下

一 筆奉啓上候上 一 筆啓上候上

一 毫啓上候上 一 筆啓上候上

一 筆啓上候上 一 筆啓上候上

一 筆啓上候上 一 筆啓上候上

一 筆啓上候上 一 筆啓上候上

二 五〇〇

從 某様御書成下謹而奉

洋見^{えん}惟^{えん} これハ極上ノ多クを極前收ウノノミ
文字をしくとて作文をさく

沖^こ高^し年^と母^ろ見^{えん}作^く 極上ナリこれハノミ
極前收ウノミ

芳^{えん}書^し洋^{えん}見^{えん}結^く 貴^きれ^れ未^み洋^{えん}見^{えん}結^く
上

も^もれ^れ致^しぬ^ぬん^ん 中 本^{ほん}以^いぬ^ぬん^ん
中ノト

脚^{けつ}板^{ばん}ん^ん ト 本^{ほん}脚^{けつ}板^{ばん}ん^ん
中ノト

③ 三 中ノト

下^げ利^り印^{いん} 中ノト

三 ちのちのち

為可^しは^し河^{くわ}沖^{しゅう}機^き場^{ばう}も^も恋^{こひ}奉^{ほう}指^{さし}

思^{おも}れ^れ惟^{ただ} こころをこころにこころにこころに

も^もて^ても^も親^{おや}は^は板^{いた}折^お指^{さし}ぬ^ぬれ^れし^し極^{ごく}上^{じやう}

有^ある^るむ^むめ^めの^の戸^こ上^{じやう}お^おひ^ひく^くな^なぬ^ぬ

ち^ちの^のむ^むの^の中^{ちゆう}ち^ちの^のむ^むの^の

ち^ちの^の趣^{しゆ}可^か然^{ぜん}様^{やう}は^は大^{だい}成^{じやう}な^なむ^むな^なむ^む このころにけり 板屋の

ひ^ひの^の重^{じゆう}の^の板^{いた}屋^{おく}な^なむ^む 中

由はあつて

の

は

猶も期後青之時

は

あつて

悲惶謹言

極

馬得獲之

馬得獲之

之

之

之

之

之

之

之

之

之

之

何れに
何れに
何れに

何れに
何れに
何れに

何れに

何れに
何れに
何れに

四服付る下

何れに

何れに

何れに

何れに

何れに

何れに

何れに

何れに

何れに

何れに

何れに

何れに

何れに

何れに

何れに

何れに

何れに

何れに

何れに

何れに

何れに

何れに

何れに

何れに

何れに

何れに

何れんか
下

何れんか
下

何れんか
下

何れんか
下

② 進士服付
えししき

源氏衛門様
花と上

山源氏衛門様
き

清請

きんぎょ

山本源氏衛門様
上

山本源氏衛門様
中

きんぎょ

きんぎょ

山本源氏衛門様
下

山本源氏衛門様
下

中興

家海月乃

⑥ 刺状上五より下

泰人

信元

山下千代

ねとくとうちのまゝに
 我名よりしんじく
 のとくをまゝに
 うのこゝにまゝに
 りとくをまゝに

系

山下為吏

七

石田安房も様字も書

糸と中

上

石田安房も様字も書

糸と中

中

山田三郎も様字も書

下

山田三郎も様字も書

下

山田三郎も様字も書

下

二
山田三郎も様字も書

西のやうなふとふとにうとこゝに
 うとこゝにうとふとふとふと
 のふとふとふとふとふと

九

迴心之儀

惟依

惟依

惟依

決意不歸

來

十八日

之

初

日

寺

法

院

の

ま

何月何日

下村源八

十

廿五

望之元

今曉に於て

余は如地にて

ありて

ある

何月何日

下村源八

山本

十

月

日

下

村

源

八

① 上 紙 目 録 表

献上	御太刀 一腰 國光	御馬 一疋 月毛	以上
----	--------------------------	-------------------------	----

うきまき
げんぎ
こころ
おのこ
まは
りま
り

御太刀 一腰	金子 三百枚	御馬 一疋	以上
--------	--------	-------	----

これ
ま
の
り
り
り

ふ
な
ま
り

中書乃紙
文書乃紙

下書乃紙
書乃紙

中

中書乃紙
一冊

中書乃紙
一冊

中

中

中書乃紙
一冊

中書乃紙
一冊

中

中書乃紙
一冊

中書乃紙
一冊

中

中書乃紙
一冊
中書乃紙
一冊
中書乃紙
一冊
中書乃紙
一冊

衣

右御も代金とす

此後清く正しく

何事も

月日

初

何事も御守と

此後

これらひの

何事もこの方

の事ひり

念の事ひ

何事もこの

何事もこの

何事もこの

何事もこの

何事もこの

奉獻上

雄釵

一振

龍蹄

一足

以上

此中依

信

十二

子

希

箱着目録

これら清く正しく
何事も御守と
此後

進上

白鳥

一

朝

一

海月

三

月日

張秋

一番

一

二喉

一

三桶

名

進上

二鯛

三頁

山

名
名
上
やう
わ
お
の
こ

一

二

中
人
に
い
し
く
た
く
を

素麺

お中

これ
お
お
お

十三

あ

金

十三 萬石形長

金銀形

部 金子之事

一 小判二百兩

右 金子は部 下 金銀也 何時に成る

元 御入用 金銀 元利 金銀 金銀 金銀

内 後日 仍る 金銀

年号

月日

金銀

金銀

金銀

金銀

破賊手形文

一得金田の積貫目

石之根石中より真の石を付るは、
石の根石中より真の石を付るは、

請道
石張
お後
一
芝
お
と
直
張
是
と
如
中

ふねはるをきくはる

年

月
日

負世方何處

阿金

五

卷之九

何處
非也

養子一礼

此後子息増えり子息を養子何程お
添我事分岐ゆゑも右に記すに
あつて後日養子ありて方へ
息と猶子と云ふは是ら跡式に
仍て為後日一礼也

年月日

實父

非也

養子

非也

乳母抱一乳

は何れも女は乳母を子に結合一年

何れも女は乳母を子に結合一年

何れも女は乳母を子に結合一年

何れも女は乳母を子に結合一年

何れも女は乳母を子に結合一年

何れも女は乳母を子に結合一年

何れも女は乳母を子に結合一年

何れも女は乳母を子に結合一年

乳食之代もあつたやうに
乳食は代もあつたやうに
乳食は代もあつたやうに

御子たちへ育つて下さる

右へ趣相違申すは人共も
右へ趣相違申すは人共も
右へ趣相違申すは人共も

下へ御子へ後日へ一札も

年号月日

人共
それ

年切も人共

一何月何年何月何年何月何年

後年切も御子へ育つて下さる

村何月何年何月何年何月何年

法度は切丸丹粒煉家つるもきつた宗なるは
家る則奇法快は方りうた何時るもは用は
実なるものなり

正なる迎方家法とあるは為出物なる表
私に寄るもあるおるなりゆきしも定る也
正なる切丸事

一年季の肉不叶義付際をいふは皆り同く
飯年新用兼用ではなる

右のひきりたるはなぬ候も来はるは我

飯手新用集用てはる

右所記の如く字を改め集用てはる

くまのりてとらとらめり
くまのりてとらとらめり
くまのりてとらとらめり

あはれは後日之に改め

年号 月日

推叙

中季に人語

正徳二年三月八日

正徳二年三月八日

信人 右判

親 右判

信人 右判

借金清心事

河海河河河河河河河河河河河河

仁德冠世
仁生國
仁德冠世
仁生國

之人多能先和性存知以仁為教諸人亦多

所以仁家之義也代河家者則河奇之

東國海運何所何毒之且將自以不世而

法及之切死丹家乃千金氏之海人

先師奉仍極矣
仍引二十一條

し越後おのり

一 侍妾しやけ花はな女によ者や名な加か越ゑ書しよもも一い也や
殺ころせるもも也や

一 御ご家け河か時とき也や市し入い月げつ也や長ちやう生せい也や河か時とき也や

たたわわののおお後ご下げのの方かた一いにに有あ御ご

御ご家け極ごく私しににとと代だいのの人ひととと也や

意いををおお後ご下げのの方かた一いにに有あ御ご

ををおお後ご下げのの方かた一いにに有あ御ご

ももおお後ご下げのの方かた一いにに有あ御ご

御ご家け極ごく私しににとと代だいのの人ひととと也や

おお瀬口町中年あゝ人紀清あゝあゝ

難くけりもあゝ

一お宿をへ程おきあ月分毎日おき

おお瀬口町おきあ月分毎日おき

年平月日

清人何人判

年平何人判

清人何人判

清人何人判

寺法帳事

一何と海河と町河屋非あ市歌河屋河と

仁借屋は昔よりいかに何事ある代り

寺と此の紛争は河津宮に切替

うびる人の子孫も寺の河津宮

と家つて寺の河津宮に御

僧も河津宮に御

りも河津宮に御

年号

月日

河津宮

河津宮

河津宮

河津宮

河津宮

何と云はれり
年々何と云

所中一系

護收と云

一系承跡式并家屋敷の家持継子不承也

領主譲戸不承也或は法男継子何と云諸

何と云何と云家持軒継子何持費同云

江戸しは我何方かや遠乱坊しと云

百六の何と云後日懐收也

年号

月日

夢野氏

沙町中

又推利

永代賣渡教屋あゝ

合さうあゝ

河さう河さう河さう

あゝ河さう河さう

あゝ河さう河さう

右さう表は河さう裏はさう

丁銀河表目河金河らるゝ

代賣渡りてあゝあゝいゝあゝあゝ

と遠風がさうさうさうさう

さうさうさうさうさうさう

さうさうさうさうさうさう

さすぬ我も其はた利形と云ふは其も

内後日と賣来此所
少と難けり
其の

年号月日

推古

2
家屋の買付所

推参人 名利
推人 名利
書主 名利

河と海河と河屋推参人表は河の表
河屋推参人表は河の表
河屋推参人表は河の表
河屋推参人表は河の表
河屋推参人表は河の表

書後ノ田地ノ事

合河田河河反河

水懐敏貞

右ノ田地家未伐ノ防可ハルハ反ノ田地

此後肝夷ノ丁銀河接河勢同此後ノ水

代書後ノ水主ノ河也右ノ田地河方ノ人連

乱ノ志ノ可ハルハ河ノ一河ハ志ノ人連

志ノ反河ノ事ノ仍由後日田地書券收付

年々月日

此後

書人 名判
書人 名判

策者如子形

一小神

括め 但利也

右に少神策者如入其十月四日張子河面

因常利一ふまに心也右に十月元

利根をいふ後策者如子形

策者如子形一は策者代ふふふふ

い少神者なり右に其の策者も其の法も

法にふまに其の法にふまに其の法にふまに

策者如子形

法人ふもあまは坊のりひひるの後日

留和法抄

本年月日

賢

世

書しりれ

一紙あな書

何指

山代根何百何指

布紙代根何指

上り形

後人新

年号月日

紙金 何なる

紙銀

書状信札の形

一丈紙銀

のり 今も子へ

書状の形

紙包

苞苴

おもひ返しなること

月日

このころからけりひ

紙銀

紙銀

あら送状

書状

形

あは送山

一書花箱 勢

有るもあは河町を越膝河をうお後とえ下

よ則賃銀と河程とさちと梯りいり珍味

をわさる市橋とそあゆむとうひらき

河月河日 河をう判

何あぬ

道具貴白形

一小時乃図の主跡 年 島舟と繪 二幅

書
翰
便
畧

○書札
海龍
海星
車丸
如減
台郡
車

半毛
外毛
漢籍
芳書
交字
儀星
水務

示海
示條
夢札
指腰
毛密
奇物
日海

空毛
古鏡
寫稿
恨稿
貼稿
車方
場五

○墨札
雲青
香記
煙札
片札
口酒

柔潤
柔素
柔璧
尺素
尺書
尺牋
無體

山海
山藥
經記
寸毫
銅石
○面上
清分人

接肩
合紙
比親
倚玉
含脂
芝眉
奇通

壽遠
齊盤
偶會
修吏
出款
事吟
吟事

轉回 蓮陽 封康 ○人之家 高岡 高坂 金殿

門屏 門園 門牆 門庭 仙居 高岳 使居

孝門 孝亭 文館 仙陸 仙屋 出林 南房

我邸 竭全 絲屋 帽衣 密護 松芽 破宅

望門 匠巷 新廬 白屋 連戶 芳林 金

人之家 仙府 仙郡 仙縣 仙鄉 錦里

家之 鄉邑 寧鄉 多卿 下里 賈里

人之家 名家 今姓 衣族 衣族 聖宗 聖族

家之 假族 吟南 主族 泉族 賢果 早族

○印也 印也 印也 印也 印也 印也 印也 印也 印也 印也

○ 家一ハ 假族 令南之族 表族 野集 甲族

○ 師重 仰宗 先師 先生 夫子 高師 不哲人

○ 朋在 親朋 親友 心友 莫逆 同志 金友

○ 同姓 宗長 宗父 宗兄 宗契

○ 儒者 魁元 學士 名儒 歸儒 聖儒

○ 人父 公 金父 教父 即伯 金桂 金

○ 父 通父 通母 金府 金府 金府 金府 金府 金府

○ 家父 家父 家父 家父 家父 家父 家父 家父

○ 金母 金母 金母 金母 金母 金母 金母 金母

○ 家母 家母 家母 家母 家母 家母 家母 家母

○人々子 國雲 金子 極子 函貫 南出 雲

○女子 金毛 國秀 國毛 毛玉 ○人

金芳 金兄 金昆 雅兄 金伯 玉昆 金昆

○家兄 毛兄 長云 阿兄 楠兄 家兄 家兄 人

○人々子 金青 毛介 雅秀 金仲 金云 金芳

○我秀 仲秀 阿叔 阿叔 阿仲 家秀 知秀

○人々子 金心 金雲 金圓 金子 金相

○我妻 細若 田田 判布 中值 判妻 結布

○我妻 細若 田田 判布 中值 判妻 結布

○外男 毛圓 夷夫 金外男 金外男 金外男

二月

仲夏 如月

夾鍾

經星

四陽

夏至

三伏

三

三伏 陽中

金月

中氣

仲陽

秋分

臨青

月三

三伏 三伏

經月

雙月

夏至

秋分

三伏

季

季 三伏

三伏

三伏

三伏

三伏

三伏

月四

三伏 三伏

三伏

三伏

三伏

三伏

三伏

月

三伏 三伏

三伏

三伏

三伏

三伏

三伏

月五

三伏 三伏

三伏

三伏

三伏

三伏

三伏

月

三伏 三伏

三伏

三伏

三伏

三伏

三伏

月六

三伏 三伏

三伏

三伏

三伏

三伏

三伏

三伏

月七

三伏 三伏

三伏

三伏

三伏

三伏

三伏

三伏

月六 季夏 梅鐘 庚伏 但暑 曉夏 亢陽 乾火

月七 孟秋 夷則 柝秋 蘭秋 蘭月 素商 流火

初秋 園秋 秋始 秋燥 秋露 秋月 三秋

上秋 商呂 爽音 暑氣 秋涼 子秋 余風

月八 仲秋 南呂 極月 酉籟 晴秋 西秋 孟月

深秋 極秋 秋實 秋高 秋清 厚月 秋分

月九 季秋 玄府 涼秋 授衣 菊月 霜月 雪月

抄秋 曉秋 玄月 苦秋 蟄秋 秋杪 季冬

長月 言商 臨賓月 霜秋 望秋 流秋 霜降

月十 孟冬 陽月 吉月 良月 方冬 小雪 始水

初冬

新冬

早冬

上冬

玄冬

冰凍

雪霰

仲冬

黃鐘

暢月

陽信

冰壯

芒雪

朔風

後月

葭月

又雪

初陽

霜晨

初天

早冰

主月

季冬

大呂

雉月

抄冬

朔年

臘月

臘冬

書冬

瑞冬

嚴風

嚴候

玄氣

仲冬

維霜

(共) 同一字者

取如

病

余

舉

因

相

壯

全陽

徐

吉

旬

念

勿

提

月

(主) 小呂

(七) ぬき口くきふ

元

二 初 二 初 元 旦 二 旦 二 旦 四 旦 雞 旦

雞 旦

雞 旦 雞 旦 雞 旦 雞 旦 雞 旦 雞 旦 雞 旦 雞 旦

已 上

二 旦 二 旦 二 旦 二 旦 二 旦 二 旦 二 旦 二 旦

午 未

二 旦 二 旦 二 旦 二 旦 二 旦 二 旦 二 旦 二 旦

申 酉

二 旦 二 旦 二 旦 二 旦 二 旦 二 旦 二 旦 二 旦

戌 亥

二 旦 二 旦 二 旦 二 旦 二 旦 二 旦 二 旦 二 旦

子 丑

二 旦 二 旦 二 旦 二 旦 二 旦 二 旦 二 旦 二 旦

寅 卯

二 旦 二 旦 二 旦 二 旦 二 旦 二 旦 二 旦 二 旦

辰 巳

二 旦 二 旦 二 旦 二 旦 二 旦 二 旦 二 旦 二 旦

林 道 院 卷 之 五

卷之五

卷之六

上旬

陽日
朔日
陰日
方
朔日
方
朔日
方
朔日
方

初

佛日
 初九日
 初十日

中

和月 十一
水月 十二
木月 十三
火月 十四
土月 十五



十六
上日
十七
生れ
十八
月
十九
今日
元日

下

信こ元えん止し
 下り天てん止し
 下り地ち止し
 經けい風ふう示し
 文ぶん日にち止し

惠

六
 神
 来
 宿
 日
 定
 来
 梅
 日



衣服
魚

魚
調子

冠

舊帽子一頭
新衣一具

何^{ナニ}に^ニ烟^{エン}衣^イ袴^{ハコ}
一^{イツ}く^クも^モり^リ之^ノ也^ヤ
皇^{スミ}の^ノ胎^{タイ}
一^{イツ}く^クも^モり^リ之^ノ也^ヤ
裕^ヨ
當^{トウ}也^ヤ
唯^{タリ}子^シ

か
日しんり敷
乃ごうり眠
旬しゅう合くわ月
時とき衣
布ふ衣
衣い衣
汗あせ

糸いと
 織おり
 乃の
 旬しゅん
 時とき
 布ふ
 雲うみ
 汗あせ

新
高
國
懷
牧
悞
市
為

輕巾
 綿子
 花
 草
 綵
 足袋
 綿

把
寫
一
金
獨
荷
衣
純
子
編
子
編
子

編子 ヒョウシ
光編子 ヒョウシ
結繩 ヒョウシ
流文 ヒョウシ
縷 ヒョウシ
紗縷 ヒョウシ
大縷 ヒョウシ
縷 ヒョウシ

羅紗らさ
 羅袴らこ
 得とくととはは
 毛け也や
 一ひと物もの
 子こ也や

新内崎 綿 紬 奥 襦 袴 子

胃 旬 緩 胃 足 一 飲 金 刀 魁 指 一 腰 叙 也 可 一

振 負 一 注 一 錯 炮 一 提 弓 一 注 注 者 心

精しやう
 一いっ捷てつ
 轉てん
 悅えつ
 雷らい
 四し付ふ
 山さんととにに寒かん
 何なんととししうう
 暖なん酒しゆ
 刀たう草そう
 肥はい
 玉ぎよく

鞆
鞆
人
鞆
鞆
鞆
鞆
鞆

菊 キク
 一 ヒト
 舞 マユ
 一 ヒト
 當 トウ
 一 ヒト
 足 タラシ
 一 ヒト
 翠 スエ
 一 ヒト
 軒 ケン
 一 ヒト
 丁 テイ
 一 ヒト
 迷 メイ
 一 ヒト
 礎 ソ
 一 ヒト
 基 キ
 一 ヒト
 礎 ソ
 一 ヒト

中老翁
 双六
 笛
 蜜
 冬
 雪
 一
 朝
 雪

挺机一断
挂物一幅
古收色形
目録往來
一通
扇一

車
 固
 瓶
 物
 一
 斤
 香
 一
 瓶
 蓋
 一
 蓋
 名
 一
 一

名を五
一板
系一版
系一包
系一粒
系一列
系一

風一
双
車
輛
名
色
面
體
二
枝
仍
黑
對

傳
一
新
書
起
以
一
教
類
人
數
博
一
通
先
葛
龍
一
荷
字
宋
一

[illegible]

經
一
約

書
長

教
義
之
類

數
博
一
道

葛
龍
一
荷

字
家
一
池

新一年
ちんちん
白鳥
鴨
鰐
雄子

崔 さい
崔 さい
轉 てん
鳴 めい
付 つ
子規 しき
當 たう
鵲 せき
山栖 さんし
野 や
者 しや

鯢
𩺰
𩺱
𩺲
𩺳
𩺴
𩺵
𩺶
𩺷
𩺸
𩺹

魚うし 藥くすり 鱗うろこ 吟うた 鰐うなぎ 新あらた 體うで 終はつ 名な 弱うす 弱うす 輕うす

